

(9) 5大学による教育連携

平成8年に始まった山形大学、徳島大学、愛媛大学、群馬大学それに熊本大学による教育・研究交流活動の一環として、平成16年度から途切れることなく続いている5大学連携教育シンポジウムは、昨年、熊本大学を会場に開催される予定であったが、COVID-19 感染拡大防止の観点から中止となった。本年度、そのまま熊本大学を幹事校として第17回目の5大学連携教育シンポジウムをオンライン(1日)で開催した。

以下に、オンラインで開催された本シンポジウムのプログラムを示す。

令和3年度 5大学連携教育シンポジウムプログラム(案)

日時： 令和3年9月9日(木) 10:00~16:00

会場： 熊本大学 工学部1号館共用会議室A (Zoomによるオンライン開催)

(1) 10:00~10:10 開会式(共用会議室A) 司会 飯田 全広(熊本大学)
○開会の挨拶 熊本大学副工学部長(教育担当) 藤吉 孝則

(2) 10:10~11:10 セッションA(学生発表)
○テーマ：「大学生活を通じて自分が得たもの」 司会 井堀 春生(愛媛大学)

A-1 徳島大学 10:10-10:22 (〔発表10分、質問2分〕)

「鳥人間プロジェクトの活動を通じて得たもの」

笹本 晴聖(徳島大学工学部理工学科 電気電子システムコース B3)

A-2 愛媛大学 10:22-10:34 (〔発表10分、質問2分〕)

「防災活動を通して得た”考える力”」

木原 拓海(愛媛大学大学院理工学研究科 生産環境工学専攻環境建設工学コース M2)

A-3 山形大学 10:34-10:46 (〔発表10分、質問2分〕)

「状況を楽しむ心」

飯島 羅夢(山形大学工学部システム創成工学科 B4)

A-4 群馬大学 10:46-10:58 (〔発表10分、質問2分〕)

「GFL生目線で考える 大学生活で培う力」

吉田 聖(群馬大学工学部化学・生物化学科 B3)

A-5 熊本大学 10:58-11:10 (〔発表10分、質問2分〕)

「地域ボランティア活動で得られたこと」

副島 大翼(熊本大学工学部材料・応用化学科 物質材料工学教育プログラム B4)

(休憩10分)

(3) 11:20~11:50 学生発表総括 司会 長尾 辰哉(群馬大学)

昼食休憩 : 11:50~13:00

(4) 13:00~14:40 セッションB(教員発表)

○テーマ：「厳格で適正な成績評価について」

司会 日下 一也(徳島大学)

B-1 徳島大学 13:00-13:20 (講演15分、質疑5分)

「絶対評価と相対評価と理解度に関する一考察」

三好 徳和 (大学院社会産業理工学研究部理工学域自然科学系 教授)

B-2 山形大学 13:20-13:40 (講演15分、質疑5分)

「厳格で適正な成績評価について～山形大学工学部の一事例報告～」

近藤 康雄 (山形大学工学部システム創成工学科 教授)

B-3 愛媛大学 13:40-14:00 (講演15分、質疑5分)

「PBL教育(試行実施)における評価方法の省察」

森脇 亮 (大学院理工学研究科生産環境工学専攻水圏環境工学 教授)

B-4 群馬大学 14:00-14:20 (講演15分、質疑5分)

「成績評価のバラツキ・ループリック・組織的対応」

二宮 祐 (群馬大学大学教育・学生支援機構教育改革推進室 准教授)

B-5 熊本大学 14:20-14:40 (講演15分、質疑5分)

「熊本大学における成績評価の考え方」

橋新 剛 (熊本大学大学院先端科学研究部物質材料生命工学部門 准教授)

(休憩10分)

(5) 14:50~15:50 特別講演

司会 飯田 全広 (熊本大学)

○テーマ:「学生の学びと成長～学修成果可視化システムASO (eポートフォリオ) の活用～」

講演者: 川越 明日香 (熊本大学 大学教育統括管理運営機構 准教授)

(6) 15:50~16:00 閉会式

司会 飯田 全広 (熊本大学)

○閉会の挨拶

熊本大学工学部長 連川 貞弘

○次期開催大学挨拶

山形大学副工学部長(教育担当) 野々村 美宗

なお、本シンポジウムの詳細は別冊の「令和3年度 5大学連携教育シンポジウム」報告書にて紹介されている。